

第 8 回 Japan Council History Committee 委員会議事録

1. 日時：2013 年 9 月 27 日（金） 15:00～17:00
（懇親会を 17 時半より別会場にて開催）
2. 場所：北見工業大学札幌サテライトオフィス
3. 出席者：白川功（Chair、関西支部兼任）、島村和典（Vice Chair）、山本幹（Secretary）、柏達也（札幌）、曾根秀昭（仙台）、河東晴子（東京）、長尾雅行（名古屋）、古賀隆治（広島）、岩下克（四国）、二宮保（福岡）
Adviser: 大野栄一、松本栄寿
オブザーバ：立木武彦（三菱電機）、高橋岳宏（三菱電機）：JC 幹事会社
JC 事務局：加藤

4. 資料

1. 2013-2014 IEEE JC HC 委員名簿（JC8-01）
2. IEEE JC HC 第 7 回委員会議事録（JC8-02）
3. 2013 年度活動計画（3 月 28 日開催 JC HC 理事会資料）（JC8-03）
4. JC 理事会議事録（関連事項抜粋）（JC8-04）
5. IEEE マイルストーンの申請（2012 年度配布資料）（JC8-05）
6. 日本の IEEE マイルストーンの状況（JC8-06）
7. MU レーダ紹介資料（JC8-07）
8. IEEE マイルストーン関連ページ情報（JC8-08）

5. 議事概要

1) 2013 年度体制

白川委員長からの開会の挨拶に続き、各委員の自己紹介を行った。東京支部河東委員からの要請により、オブザーバとして立木 武彦（三菱電機(株) 情報技術総合研究所）、高橋岳宏（同上）の 2 名が参加した。

2) 第 7 回委員会議事録

第 7 回委員会議事録案が承認された。その中の、引き継ぎ事項については、マイルストーン申請時に注意すべき重要な情報であるので、特にご覧頂きたい旨紹介があった。

3) 2013 年度の運営方針

資料に基づき、今年度の運営方針について説明があり、資料案通り決定された。

4) JC 理事会報告ならびに HC 委員会の位置づけについて

JHC 委員会を現在の Adhoc Committee のステータスから Standing Committee に変更する件について審議を行った。HC においてはマイルストーン案件についてある程度長期にわたり携わることが望ましいことから、任期に制約のない Adhoc Committee として活動を行うことが満場一致で決定した。

5) IEEE マイルストーンの状況

現在のマイルストーンの申請状況について報告があった。現在日本発で承認されているマイルストーンは 17 件である。

6) HC 委員交代について（東京支部）

現東京支部の河東委員が、MU レーダマイルストーン申請業務に注力するため、HC 委員を立木氏に交代したい旨報告があった。委員交代については、HC 委員会での承認事項ではなく、支部で決定する事項であることから、東京支部で審議のうえ HC 委員会にあらためてご報告頂くこととなった。

7) その他

- a. 松本アドバイザより、今年ご逝去された杉山 卓氏の業績を讃え、IEEE Foundation に寄付できることとなったことが報告された。本件について、日本国内に広く周知することが望ましいこと、それに向けては松本アドバイザがメール発信者となって進めること、具体的には JC 幹事会社の立木氏が JC Secretary 千葉氏と連携しながら進めること、が決定した。
- b. 国際歴史シンポジウムを日本で 2016 年ごろに開催することについて松本アドバイザより提案があった。大野アドバイザを組織委員長として進めることとなった。
- c. 次回 HC 委員会は、仙台を開催地とすることが決定した。